

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者給食サービス事業				会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	意図	高齢者が給食サービスを利用することにより自立した生活を継続することができる。
事業内容	日常的に食料の調達が困難であると認められることや認知機能の低下により食料の管理が困難であると認められる一人暮らし等の高齢者に対し週3回まで夕食を届ける。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度に高齢者給食サービス事業の実施に係る規則を見直し実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 配食数		16,406	10,395	食	→→	年間の配食数
	② 配食利用者数		1,554	985	人	→→	毎月の利用者数の累計
	③ アセスメント実施件数		170	102	件	→→	年間のアセスメント実施件数
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	手渡して食事を届けることで、高齢者の安否確認を合わせて行っている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成23年度に給食サービスの規則を見直した。食の調達が困難な高齢者、認知機能の低下により食の管理が困難な高齢者に給食サービスを実施した。食の支援は、本事業以外にも介護保険内外に多様なサービスがあり、利用者はその他のサービスを併用しながら自立的な生活を継続している。		
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			19,245,633	11,812,670			
事業費(b)(円)			16,374,433	9,017,870			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)			2,871,200	2,794,800			
人役・職員(人)			0.40	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	配食事業者変更により利用者にとまどいが生じたため、事業者と連携を図りつつ定着を図る。食の調達に関し民間サービスの状況をよく調査しつつ、引き続き改善の余地を検討していく。	③取り組みの課題	利用者の満足度は高く、事業の継続が望まれる。加えて、地域包括ケアシステムの中での位置づけや役割を踏まえた事業改善が今後必要になると見込まれる。
②今年度(H25)に実施した取り組み	配食事業者との連携を強め、利用者に対するサービスの定着を図った。併せて、利用者アンケートの実施により、利用者の満足度・ニーズを調査した。	④今後の改善計画	他の高齢者福祉事業や関係機関との調整を図り、今後の事業のあり方について検討していく。